

【公開日】 2025年9月29日

作成日 2025年 8月 22日
(最終更新日 年 月 日)

「情報公開文書」

受付番号： 2025-4-088

課題名：災害後の国内移住とメンタルヘルスに関する疫学研究

研究責任者：東北メディカル・メガバンク機構・准教授・小原 拓

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査に参加された方でベースライン時18歳以上の方

2. 研究目的・方法

【研究期間及び試料・情報の利用又は提供を開始する日】

研究期間：2025年9月（研究実施許可日）～2028年8月

（試料・情報の利用又は提供を開始する日：2025年9月（留保期限・解析後））

【研究目的】

本研究では、災害後の国内移住とメンタルヘルスとの関連を明らかにします。昨今気候関連の自然災害や人的災害が世界で増加しており、無数の生命が危険にさらされています。多くの人々にとって、移住は安全を見つけるための実行可能な手段であり、国境を越えて避難する場合もありますが、多くは国内で再定住します。Internal Displacement Monitoring Centre (IMDC, 2025)によると、国内避難を強いられている人々の数は2018年以降2倍以上に増加し、2024年末までに8340万人に達すると報告されています。また、World Health Organizationによると、人道的な緊急事態を経験した人々のうち約20%が精神疾患に苦しんでいると報告されています。さらに、移住者の心的外傷後ストレス障害（PTSD）の発症率は13%から25%であることが報告されています。ほとんどの研究が難民や亡命者といった人々に焦点を当てている一方で、国内避難民の人々については、強制移住者の中で最大規模であるにもかかわらず研究がまだ進んでいません。国内に留まっている人々が国境を越えて移動した難民の方々と同等のメンタルヘルスの低さを有している可能性も報告されているため、国内で避難している人々のメンタルヘルスのさらなる研究が必要です。

フライブルク大学、ミュンスター大学、ニューサウスウェールズ大学では先行研究から対象の研究を抽出して、災害による国内移住者の人々のメンタルヘルスへの影響を評価するためのメタアナリシスを計画しており、東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査にも協力の依頼があったため、集計結果を提供いたします。

【研究方法】

三世代コホート調査参加者のうち成人を対象に、東日本大震災後の転居状況別のアテネ不眠尺度（睡眠の質に関する質問）、CES-D（抑うつ状態に関する質問）、K6（心的ストレスに関する質問）の点数分布を算出いたします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

三世代コホート調査で既に収集された年齢、性別、続柄情報、調査票情報（ベースライン、詳細二次、詳細三次）

4. 外部への試料・情報の提供

フライブルク大学、ミュンスター大学、ニューサウスウェールズ大学には解析結果のみを提供し、個人単位の情報は含みません。

5. 関係研究組織

フライブルク大学：アールケ キップ

ミュンスター大学：ネクメディン モリーナ、ダーナ チュルバジ

ニューサウスウェールズ大学：アンジェラ ニッカーソン、フィリッパ スペッカー

6. 利益相反（企業等との利害関係）について

当機構では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は運営費交付金です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 お問い合わせ窓口（予防医学・疫学部門分子疫学分野）

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-717-8104

三世代コホート調査に協力された方で、本研究に限って情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート担当

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-5162

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「7. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第21条の4＞

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大學東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大學情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできなことがあります。

＜人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第33条の2＞

①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合

③他の法令に違反することとなる場合